

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年2月4日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 中津濱 健
 問合せ先責任者(役職名) 経理本部長(氏名) 相田 邦明 (TEL) 03-3471-5521
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	268,535	△0.8	3,684	△12.7	5,054	△7.0	2,732	△24.7
2019年3月期第3四半期	270,704	3.8	4,220	△16.6	5,433	△13.9	3,628	△14.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,744百万円(△22.8%) 2019年3月期第3四半期 3,553百万円(△25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	280.54	263.71
2019年3月期第3四半期	375.83	351.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	144,047	53,820	37.4
2019年3月期	125,938	52,244	41.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 53,809百万円 2019年3月期 52,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	120.00	120.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	120.00	120.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	346,000	△1.5	4,100	△14.4	5,500	△14.3	2,800	△38.7

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	9,741,631株	2019年3月期	9,741,191株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,910株	2019年3月期	1,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	9,739,570株	2019年3月期3Q	9,654,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く環境は、所得環境の改善が続き、景気が緩やかに回復する一方、食品に対する消費者の低価格志向が伺えます。また、消費税率引上げ後の食品購買の動向については引き続き注視する必要があります。

食肉業界においては、販売競争の激化、人手不足による物流費、人件費等の増加が重なり、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは『営業力の再生』をテーマに掲げ、さらなる成長に向けた各種施策に取り組んでおります。具体的には、海外事業強化の一環として三井物産株式会社と中国現地パートナーとの3社合弁による食品販売会社を設立し、2019年10月に営業を開始いたしました。また、意思決定の迅速化、組織運営の効率化等を目的に、当社を存続会社とした海外調達子会社及びハンバーグの製造子会社の吸収合併を行いました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は268,535百万円（前年同四半期比0.8%減）と減収となりました。利益面につきましては、加工食品販売の苦戦や物流費・人件費等の増加により営業利益は3,684百万円（前年同四半期比12.7%減）、経常利益は5,054百万円（前年同四半期比7.0%減）と減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は上記に加えてハンバーグ工場の減損損失の計上もあり、2,732百万円（前年同四半期比24.7%減）と減益となりました。

事業部門別の営業概況は、次のとおりであります。

<食肉関連事業>

食肉関連事業は輸入牛肉の減収の影響が大きく、売上高は266,430百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

(食肉)

国内事業は、既存取引先との取り組み強化や販売部門と供給部門の連携を活かした商品提案など、営業力の強化に努めました。しかしながら、需要に合わせた調達を徹底することで主に輸入牛肉、輸入鶏肉を中心に調達量が減少し、取扱量、売上高ともに前年同四半期を下回りました。利益面は、12月の和牛相場下落による仕入環境の一時的改善や、輸入豚肉の販売が好調だったことなどから売上総利益で増益となりました。

また、カテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉は、消費者の食肉消費量が落ち着きを見せたこともあり、取扱量は前年同四半期比で微増となりました。売上高は食肉消費量の落ち着きに加え、12月の和牛相場下落の影響もあり、前年同四半期比で横ばいとなりました。利益面は、販売競争が激化し利益の取りにくい状況が続きましたが、前述のとおり和牛の仕入環境の一時的な改善により売上総利益で増益となりました。

輸入食肉は、前述のとおり輸入牛肉、輸入鶏肉の影響が大きく取扱量、売上高ともに前年同四半期を下回りました。利益面は、輸入鶏肉において8月後半から9月にかけて、荷動き低迷等により販売価格が下落し苦戦を強いられました。一方で、輸入豚肉が好調に推移した結果、輸入食肉全体では売上総利益で増益となりました。

輸出事業は、国産牛肉の輸出を中心に前年同四半期比で取扱量、売上高ともに伸長し、三井物産株式会社との協業による台湾向けの輸出も順調に推移いたしました。

これらの結果、食肉部門の売上高は214,119百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。利益面は国産牛肉、輸入豚肉の貢献が大きく、売上総利益で増益となりました。

(加工食品)

加工食品は、一部製品の販売数量が減少した影響で、取扱量は前年同四半期を下回りました。一方でスライス商品を中心に販売が順調に推移した結果、売上高は前年同四半期を上回り、40,410百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。利益面は、ハンバーグ、ローストビーフで当初計画に比べると取扱量が伸び悩んだ結果、ハンバーグ新工場等の費用負担を十分に回収できず、苦戦を強いられました。

(ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージは、販売競争が激化しており、取扱量、売上高ともに苦戦を強いられました。結果として、売上高は前年同四半期を下回り、10,260百万円（前年同四半期比6.8%減）となりました。また、利益面は取扱量の減少が主な要因となり低迷いたしました。

(その他)

その他の取扱品は、売上高は1,640百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

<その他の事業>

その他の事業は、売上高は2,104百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、18,495百万円増加し、97,169百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金や商品及び製品、現金及び預金が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、378百万円減少し、46,863百万円となりました。これは、主として建設仮勘定が増加したものの、機械装置及び運搬具や建物及び構築物が減少したことによります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、18,109百万円増加し、144,047百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、14,805百万円増加し、60,518百万円となりました。これは、主として短期借入金や1年内返済予定の長期借入金、未払金や1年内償還予定の社債が増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、1,728百万円増加し、29,708百万円となりました。これは、主として社債が減少したものの、長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、16,533百万円増加し、90,227百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、1,575百万円増加し、53,820百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2020年2月3日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した見通しから変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,246	12,531
受取手形及び売掛金	34,533	46,262
商品及び製品	23,424	26,172
仕掛品	345	468
原材料及び貯蔵品	1,999	1,380
その他	8,225	10,379
貸倒引当金	△100	△24
流動資産合計	78,674	97,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,933	12,502
土地	10,870	10,844
その他（純額）	6,445	6,193
有形固定資産合計	30,249	29,541
無形固定資産		
のれん	345	241
その他	676	767
無形固定資産合計	1,021	1,008
投資その他の資産	15,970	16,313
固定資産合計	47,241	46,863
繰延資産	22	14
資産合計	125,938	144,047

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,425	18,422
短期借入金	5,992	16,528
1年内償還予定の社債	—	1,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	2,817	2,815
1年内返済予定の長期借入金	7,555	9,610
未払法人税等	881	593
賞与引当金	1,562	827
その他	9,478	10,722
流動負債合計	45,713	60,518
固定負債		
社債	3,100	2,100
長期借入金	19,825	22,965
退職給付に係る負債	1,862	1,890
その他	3,191	2,752
固定負債合計	27,980	29,708
負債合計	73,693	90,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,612	11,613
資本剰余金	12,467	12,468
利益剰余金	26,942	28,505
自己株式	△7	△9
株主資本合計	51,015	52,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,433	1,421
繰延ヘッジ損益	12	46
為替換算調整勘定	△202	△217
退職給付に係る調整累計額	△20	△19
その他の包括利益累計額合計	1,223	1,230
非支配株主持分	6	11
純資産合計	52,244	53,820
負債純資産合計	125,938	144,047

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	270,704	268,535
売上原価	246,889	244,431
売上総利益	23,815	24,104
販売費及び一般管理費	19,595	20,420
営業利益	4,220	3,684
営業外収益		
受取利息	10	6
受取配当金	97	104
不動産賃貸料	310	323
受取保険金及び配当金	243	370
持分法による投資利益	914	608
その他	212	409
営業外収益合計	1,789	1,822
営業外費用		
支払利息	335	223
不動産賃貸費用	104	115
その他	136	113
営業外費用合計	576	452
経常利益	5,433	5,054
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	24	—
関係会社株式売却益	—	5
特別利益合計	25	6
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	32	61
減損損失	0	780
災害による損失	45	—
特別損失合計	78	845
税金等調整前四半期純利益	5,380	4,214
法人税、住民税及び事業税	1,263	1,304
法人税等調整額	483	173
法人税等合計	1,747	1,477
四半期純利益	3,633	2,736
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,628	2,732

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,633	2,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△108	△19
繰延ヘッジ損益	56	34
為替換算調整勘定	△11	△39
退職給付に係る調整額	9	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	27
その他の包括利益合計	△79	7
四半期包括利益	3,553	2,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,549	2,739
非支配株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。